

● 社会貢献活動事例集 ●

— 元気な地域づくりのために —

社会福祉法人 富山市社会福祉協議会

社会貢献活動とは

地域社会の一員として社会的課題の解決に寄与し、より良い社会づくりに貢献しようとする活動をいいます。

活動方法としては次のようにさまざまなものがありますが、「何が社会のためになるのか」を良く考えて行動することが大切です。

例えば…

- 金銭や物品の寄付
- 施設（会議室など）開放
- イベントなどへの参加や支援
- 環境美化（歩道や側溝、道路の花壇などの草むしり・水やり・ゴミ拾い）
- 防災活動や防犯活動
- 高齢者や障害者の生活支援
- ホームレスや外国人などの雇用・就労支援



など



施設の社会貢献活動事例

- 施設と地域を食でつなぐ笑顔の会「ソフト食 試食会」
(社会福祉法人 宣長康久会) . . . ③
- 在宅介護者向けの地域講座「サロン介護の知恵ぶくろ」
(社会福祉法人 宣長康久会) . . . ④
- オレンジカフェ「つどい」・「在宅介護者交流会」
(社会福祉法人 光風会) . . . ⑤
- 地域美化活動「JR越中八尾駅の待合室清掃」
(多機能型事業所(生活介護・就労継続支援B型) ひまわりの郷) . . . ⑦
- 環境整備活動「地区内や施設周辺の草刈りやゴミ集め」
(生活介護事業所 秋桜の里) . . . ⑧
- 地域住民との憩いの場「地域交流室」の開放
(富山型デイサービス ふるさとのあかり) . . . ⑨
- 「くわの里夏祭り」の開催
(富山型デイサービス くわの里) . . . ⑩

企業の社会貢献活動事例

- 週3日の環境整備
(サカキ産業株式会社富山総合ガスセンター) . . . ⑪
- お米の良さを伝える
(高田食糧株式会社) . . . ⑫
- 玄関から道路までの除雪活動
(有限会社加納造園) . . . ⑬



社会福祉法人 宣長康久会

紹介

所在地 富山市下タ林141 ☎ 076-467-1000
主な事業 特別養護老人ホーム、地域密着型特養、短期入所生活介護、
通所介護、居宅介護支援、地域包括支援センター
職員数 103人

取組み

施設と地域を食でつなぐ笑顔の会「ソフト食 試食会」

きっかけ、思い

職員から、利用者さんに提供している食事がどのようなものなのか知りたいという要望があったのがきっかけです。

施設で提供している食事を、職員やご家族、地域の方々に食べていただくことで、施設の食事への思いや取り組みについて知っていただくために平成23年から始めました。



活動内容

ささづ苑で利用者さんに提供している食事「ソフト食（やわらか食）試食会」を開催しています。初めは職員のための試食会でしたが、地域の事業所やサークル等に呼びかけて、年々参加者が増えています。

試食会では、食べるだけでなく、料理のレシピも配布し、事業所やご家庭でも作っていただけるように工夫しています。

毎年行うことで地域からの参加者が増え、試食会を通してささづ苑を身近に感じていただけるようになったと思っています。

今では近隣の事業所からも多く参加していただくことで、施設の取り組みを知っていただき情報交換の場になっています。

効果、課題、今後に向けて

試食会を始めた当初は、ソフト食（やわらか食）を知っていたきたいという思いでした。今後は、ソフト食以外にも食に関するイベントを企画することで、食への関心を高め、食事って大切なんだなと思ってもらえるきっかけになればよいと思っています。





在宅介護者向けの地域講座 「サロン介護の知恵ぶくろ」

● きっかけ、思い

法人の経営理念として「皆さまが安心して幸せな生活を、住み慣れた地域で営んでいただくために貢献していきます」としており、地域貢献の一環として在宅で介護をしておられるご家族向けに情報交換の場、憩いの場を提供出来ないか考え、そこに施設が持っているノウハウも一緒に提供できる場があればとの思いで、「サロン介護の知恵ぶくろ」を始めることになりました。

● 活動内容

自宅で介護をしておられるご家族を対象に、介護の仕方を学べるサロンを開催しています。

ささづ苑地域交流室で年4回開催しました。その内容は、「オムツ交換」「ベッド上での体の動かし方」「ムセやすい方、自歯がない方の食事」「口腔ケア」です。

スタッフは看護職員、作業療法士、介護職員、管理栄養士等の職種で構成しており、専門性を生かし、ご家族の悩みや相談を聞きながら、少しでも良かったと思えるような取り組みに心がけています。

参加された方からは、「今まで一人で介護をされていて誰にも聞くことができなくて不安だった。ありがとう」などと感謝の声もいただいています。



● 効果、課題、今後に向けて

出来るだけ話しやすい空間を目標に少人数で構成しており、少しでも不安を取り除き在宅での介護が継続できる手助けが出来るようにしています。今後は定期的を開催することができるよう各部署間での調整を行い、実現に向けて動いていきたいと思っています。

在宅での介護は不安で孤独に陥りやすい面があります。サロンを通して仲間作りをしたり、話をしたりするだけでも心の負担は軽くなり、また前向きな気持ちで介護ができるのではと思っています。ささづ苑が家族を支える心のよりどころになり、人と交流できる場所としての役割をはたしていきたいと思えます。





社会福祉法人 光風会

紹介

所在地 富山市蜷川89 ☎ 076-429-7474
 主な事業 特別養護老人ホーム、地域密着型特養、養護老人ホーム、
 短期入所生活介護、通所介護、認知症対応型通所介護、
 訪問介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、居宅介護支援
 地域包括支援センター 等
 職員数 309人

きっかけ、思い

当法人は、富山市から2か所の地域包括支援センター業務を受託しており、地域包括支援センター業務を通し、地域包括ケアシステムの構築のために何が必要なのかを常に考えています。

地域包括ケアシステムの中では、常時介護が必要になれば「施設に入所」、状態が改善すれば「在宅復帰」する循環を円滑に行うことも求められていますが、そのためには、施設職員が在宅で生活する高齢者や介護する家族・地域住民等の生の声を聴いていくこと、そして施設職員の専門的知識や技能を地域に還元していくことの重要性を強く意識しています。

また当事者同士、介護者同士がお互いに悩みを話し合うことは、高齢者が自宅で生活できる期間を延伸させることができ、同時にその悩みを地域づくりに生かしていくことができると考え、「介護者交流会」「オレンジカフェ」の開催に至っています。

今後も10年後、20年後のこの地域での生活状況を見据え、地域に根付いた社会福祉法人として何ができるのかを考えて日々努力していきたいと思えます。

取り組み

オレンジカフェ「つどい」

活動内容

オレンジカフェとは、認知症の方やそのご家族、認知症に関心のある方等、誰でも参加できる憩いの場です。

オレンジカフェ「つどい」は、堀川南つどい館で毎月第3日曜日午前10時から12時まで営業しており、認知症について学ぶ場、認知症のことを相談できる場、参加者に役割を担ってもらえるようになるよう工夫を凝らしています。

10月はオープンイベントとして「おにぎりと豚汁」を作り、11月は地域からいただいたサツマイモで「焼き芋」を作りました。介護者同士、当事者同士もそれぞれに話に花が咲き、また専門の相談員と、認知症についての語らいもありました。



取 り 組 み

「在宅介護者交流会」

● 活動内容

在宅で介護をされているご家族を対象に、にながわ光風苑地域交流室で介護者交流会を年2回開催しています。

今年度1回目のテーマは栄養と口腔ケア、2回目は腰痛予防と配食サービスで、法人内の管理栄養士や看護師、介護職員、作業療法士がテーマに沿った講話や体操指導をし、社会福祉士やケアマネジャー等が介護や福祉制度についての悩みを聞いたり情報を伝えたりしています。また、今年度1回目には施設で提供している食事、2回目には配食弁当を食べてもらい、高齢者の食事の内容や量、味付け等を知る機会にもなっています。

この交流会は介護者同士が話をする機会でもあり、「わかる～。同じ、同じ。」等の声がよく聞こえてきます。悩みを共感し合えることで、「仲間がいる」「自分だけではない」と思えるようになり、「また参加したい」「ストレス解消になる」との感想をいただいています。



● 効果

オレンジカフェは開設したばかりで、まだ効果を実感することはできていませんが「認知症があっても安心して暮らせる地域づくり」を目指していきます。

介護者交流会では、楽しみながら介護者同士が介護の悩み等を話すことができおり、精神的負担感の軽減につながっていると感じています。また施設の中だけで仕事をしていた職員も、介護者の声を直接聞くことにより、利用者に関わることの責任の重さや意味を今までとは違う視点で捉えられるようになってきています。

● 課題

参加する意思はあっても、開催場所までの移動方法のない方が多く、参加者の送迎サービスも要しています。オレンジカフェは、認知症であることがまだまだ受け入れ難い方たちも多くおられ、気軽に利用してもらうには、まだまだ時間がかかると思われます。また介護者交流会では、認知症の方と一緒に連れてこないとなると参加できない介護者もおられ、その間の介護をどうするかも課題です。

● 今後に向けて

介護者交流会やオレンジカフェなどの機会を、高齢者の生活を支えるために不足しているサービスを整理するひとつの機能としてとらえ、地域住民とともにまちづくりに貢献していきたいと考えています。



障害者支援施設 野積園

紹介

ひまわりの郷

所在地 富山市八尾町井田508-1 ☎ 076-455-8020
施設の種類 多機能型事業所(生活介護・就労継続支援B型)
利用者数 39人 職員数 11人



地域美化活動

「JR越中八尾駅の待合室清掃」

● きっかけ、思い

平成12年に野積園の福島分場として始まり、平成18年5月から現在の場所で事業所開設となった「ひまわりの郷」です。

分場時代、「私たちに出来ることをしたい」と始まった清掃奉仕活動ですが、八尾町は「おわら風の盆」という全国的に有名なお祭りがあり、その祭りの翌日には町内を挙げて清掃や後片付けを行っており、分場利用者さんも地域の方々に混ざって、駅周辺や会場の清掃を行いました。

● 活動内容

事業所の社会貢献活動として「地域美化活動」を掲げ、近隣にあるJR越中八尾駅の待合室の清掃を月2回行っています。待合室の清掃ですが、電車の往来する場所で危険が伴うことも予想されることで、毎回JR北陸広域鉄道部へ連絡し、日程を決め、JR職員の方も立ち合わせての清掃となります。清掃内容は、天井のクモの巣払いから、椅子、窓、棚、壁等の拭き掃除、床の掃き掃除等々。利用されるお客様に迷惑が掛からないように気を付けて行っています。

待合室を通る方や、待合室を利用されている方へ「おはようございます」の挨拶をすることにも心掛けています。時々、「大変だね」と、声を掛けられると、とても嬉しく、またやりがいを実感しています。

● 効果、課題、今後に向けて

社会貢献活動として「継続する」という意気込みを施設長にも認めてもらい、事業所のネーム入りのユニホームを作ってもらいました。利用者さんは事業所の名前を背中に付け、地域の方々に自分たちの活動が見られていると思うと、やりがいと責任感も出てきました。昨年3月、継続した取り組みが認められ、JR西日本金沢支社様より「感謝状」をいただきました。今は駅の待合室ですが、今後は、冬の駅前除雪作業、春は花植え等の活動に加わり、活動の幅をひろげ、共に生きる社会の一員として貢献したいと思います。



駅の美化喜び新た



所在地 富山市八尾町水口88 ☎ 076-455-3788
 施設の種類 生活介護事業所
 利用者数 20人 職員数 6人

取組み

環境整備活動

「地区内や施設周辺の草刈りやゴミ集め」

● きっかけ、思い

秋桜の里は、富山市八尾町の野積地区にあります。野積地区は山間部で、以前は保育所や小学校もありましたが、今では子供が少なくなったことで統合され、高齢化も進んでいます。きれいに草刈りなどの管理が行われていた場所も、草が目立つようになり気になっていました。そういう環境の中で、秋桜の里は、元々環境整備活動を行っていたこともあり、その活動を施設周辺だけではなく、地域に広げることで社会貢献になるのではないかと考えたことがきっかけで、現在も継続して行っています。

● 活動内容

秋桜の里の活動の一つとして、環境整備活動を行っています。草刈り機を使用できる利用者さん、草むしりやゴミ集めが好きな利用者さんなどがメンバーとなり、「クリーン部隊」として活動しています。

開設当時から、入所施設である野積園周辺の草刈りや芝生広場の芝刈りなどを中心に、4月から11月頃まで毎月行っていますが、その合間をみて、野積地区コミュニティーセンター(のづみ異世代交流館)周辺の草刈り、地元の花街道と呼ばれる県道周辺や事業所の横にある地区のゲートボール場の草刈りを年数回、社会貢献活動として行っています。

特に夏場は暑くて大変ですが、熱中症にならないように注意しながら行っています。利用者さんはやる気満々で、毎日「草むしりは?」「今日はどこ?」と聞いてきます。そんな利用者さんの勢いに後押しされ、職員も必死になって行っています。



● 効果、課題、今後に向けて

地元の方々からは「きれいで気持ちが良い」と大変喜ばれ、利用者さんにも笑顔で接してくれるようになりました。

また事業所の横にあるゲートボール場では、毎日、地区のご高齢の方々が練習に励んでいて、定期的に草刈りを行うことで、気持ちよくプレーしてもらえているようです。

活動を行っていく中で、利用者さんと地域住民の方々との接点が増えたことは、大きな効果だと感じています。また、社会貢献活動の積み重ねで、共生社会の実現に近づくのではないかと希望を持って、今後も継続して行っていきたいと思います。





特定非営利活動法人 ふるさとのあかり

紹介

ふるさとのあかり

所在地 富山市四方荒屋3223 ☎ 076-435-6511
施設の種類 富山型デイサービス
利用者数 84人 職員数 33人



地域住民との憩いの場 「地域交流室」の開放

●きっかけ、思い

2005年に地域住民の方々に是非活用していただこうと、「地域交流室」を作りました。利用者だけでなく、地域の皆さんが気軽に集える場所、相談できる場所になればと心がけています。顔をみればあいさつし、近所の方が野菜を届けてくれたり、自宅にある生活用品を寄付していただいたり、畑作業をしていると野菜の育て方を教えてもらったり、声をかけてもらえることが大事だと思っています。

●活動内容

当初は職員やその子ども、地域に住む親子が「ジャズダンス」を週1回始めました。この活動は現在まで継続し、今は「キッズダンス」として、地域の子どもたち、保育園児や小学生が10人ほど週1回1時間ほど楽しい時間を過ごしています。

子どもたちのグループ名は「ビートオンキッズ」です。今では、年に数回デイサービスの交流会で発表したり、四方地区の文化祭や、特別養護老人ホームなどで定期的に発表するまでになりました。

発表すると、それを見た住民が「ふるさとのあかり」を知るきっかけとなり、地域と関わりを持っていることを知る機会になっています。

そのほか、生け花教室やイベントなどを開催していますが、口コミで地域に広がり、今日まで楽しく続けています。



●効果、課題、今後に向けて

今の活動を、地域の皆さんの声に耳を傾けながら、できる限り続けていきたいです。

また、この「ふるさとのあかり」は、障害者の利用が多いのが特徴です。引きこもりの方も地域の中にはたくさんいらっしゃると思いますが、そういう方々が気軽に集える場所を提供していきたいです。「断らない」をモットーに、これからも富山型デイサービスの良さを生かして、地域の方々と交流を深めていきたいと思っています。



株式会社 桑の里

紹介

くわの里

所在地 富山市桑原62 ☎ 076-483-8580
 施設の種類 富山型デイサービス
 利用者数 62人 職員数 12人



取組み

「くわの里夏祭り」の開催

●きっかけ、思い

富山型デイサービスくわの里は、富山市南部（旧大山町）にあり、平成26年4に開業しました。名前の由来でもある桑原地区では、以前青年団が主催する夏祭りがありました。しかし団員数の減少に伴い夏祭りも中止となり、住民が一堂に会する機会もなくなり淋しい思いをされていました。そこで、くわの里を開業した当初より、夏祭りを復活させて、住民の皆様との交流の場を提供したいという強い思いがありました。

●活動内容

開業2年目にあたる昨年、夏休みの先陣を切って7月第3日曜日（海の日の前日）に「くわの里夏祭り」を開催し今年で2回目になりました。場所はくわの里の建物と敷地内で、時間は午後4時～8時です。今年は300～400人の方々にお集まりいただきました。



はじめは、子供達に楽しんでもらおうと「ナナイロさんのシャボン玉ショーとワークショップ」。人が中に入る大きなシャボン玉や機関銃のように飛び出すシャボン玉に大きな歓声が上がリ、障がいの有無に関わらず子供達は一緒に遊び、とびきりの笑顔を見せてくれました。

次はボランティアさんによる民謡ショーです。唄い手さんも10代～70代と幅広く、観客は模擬店の焼そばやかき氷を食べながら観覧し、富山を代表するおわらや甚句では、自然に踊りの輪ができました。日が沈むといよいよ佳境に入り、子供から大人まで楽しめる「ファイヤーショー」の始まり。真っ暗な田園の闇の中に松明（たいまつ）の明かりが激しく回り、とても幻想的な雰囲気、皆固唾（かたず）を呑（の）んで見守り拍手喝采でした。ボランティアの方々のお力をお借りし、盛況に終わることができました。

●効果、課題、今後に向けて

地域の皆様に、くわの里の夏祭りに参加していただいたことで、老若男女が顔を合わせて世代を超えて楽しんでいただけたことは何よりの喜びです。富山型デイサービスは赤ちゃんからお年寄りまでどなたでもご利用いただける共生型のデイサービスです。夏祭りを通して障がいの方への理解が少しでも深まればいいなと思っています。また、毎年継続して行うことが重要と考えており、踊りの輪が年を重ねるごとに少しずつ大きくなっていくことを切に願っています。



サカキ産業株式会社

富山総合ガスセンター

紹介

所在地 富山市高木2481-6 ☎ 076-434-2141
 事業の内容 高圧ガスの製造販売
 従業員数 85人

取組み



週3日の環境整備

●きっかけ、思い

10年ほど前、本社（桜橋通り）が建物周辺のゴミ拾いを始めたことをきっかけに富山総合ガスセンターでも近辺の清掃を開始しました。

当社は、産業ガス、生活ガス、医療ガスなどを扱うガス会社なので、建物周辺でのたばこのポイ捨ては危険も伴うことから、このような取り組みを始めました。

従業員のモラルの向上と、近辺がきれいになればと思い開始しました。

●活動内容

冬期間を除き、雨の日以外の毎週月、水、金に、従業員全員を3班に分けて班編成し、全従業員で取り組んでいます。

空き缶やたばこの吸い殻は、通りすがりの方が捨てていくようで、ゴミが減ることはなく、毎回必ず落ちています。

この地道な活動が認められ、昨年1月に地元の自治会から、感謝状をいただきました。

わたしたちの活動が地域の方に認められ貢献することができ、従業員もやりがいを感じています。

また、全員参加で活動できることが社員の一体感を生んでいると思われま



●効果、課題、今後に向けて

従業員がゴミを拾うことで、「自分たちはポイ捨てをしない」という意識が高まっています。

思いがけず感謝状をいただいたことで、この活動を無理をしない範囲で、少しでも長く継続することが、地域に貢献できることだと思っています。



高田食糧株式会社

紹介

所在地 富山市上赤江1丁目8番13号 ☎ 076-441-4361
事業の内容 米穀類、炊飯、食料品の販売
従業員数 90人

取り組み

「お米の良さ」を伝える

●きっかけ、思い

10年ほど前、地元の小学校から子どもたちが普段食べている学校給食のご飯がどのようにできるのか社会見学をさせてほしいと相談があり、受け入れたのがきっかけです。

近年は、朝食はパン生活をする人が増加しお米の需要が減っていますが、お米は栄養価が高いことやお米がどのようにしてできるのかを知ってもらい、もっと身近に感じもっと食べてほしいと思い、依頼があれば受け入れをしています。子どもたちが大人になってもご飯をずっと食べてほしいと願っています。

●活動内容

地元の広田小学校3年生「広田のすてきひろめ隊」が、学習発表会の「ひろた まち」自慢」で、自分の住んでいる地域の企業を紹介するため、昨年10月に小学3年生と保護者、先生合わせて約20人が見学に訪れました。

当社はお米を中心とした事業を行っているので、子どもたちにお米はどのようにしてできるのか、わかりやすく理解し興味をもってもらうために、「苗」「田起こし」「田植え」「稲刈り」「玄米・白米」などの写真をA3に拡大して、「これは何ですか？」などと子どもたちに問いかけるなど工夫して説明を行い、そのあと精米工場の見学を行っています。

見学が終わると、子どもたちからお礼の手紙が届きます。子どもたちからは「玄米から白米にするとき皮をむくことを初めて知りました」「ゴミがないか細かくチェックして、おいしく食べてほしいという気持ちが伝わりました」など書かれていました。

この手紙は社員全員に読んでもらい、とてもよい刺激になっています。

そのほか、取り引き先業者の方からの見学も受けています。その際はパワーポイントで大人向けの資料も作成して、わかりやすくすることを心がけています。



●効果、課題、今後に向けて

子どもたちが見学に来てくれることで、わたしたちは「おいしいお米を皆さんに届けたい」という気持ちを新たにしています。今後も小学校から依頼があれば、できるかぎり受け入れていきたいと思っています。

炊飯工場は衛生面での配慮が必要なため、外部の方が見学をされる場合は精米工場だけを見学していただいています。大人でも農業を知らない人が増えています。日本人が主食にしてきたお米のことを少しでも知っていただくために、これからも継続したいと思います。



有限会社 加納造園

紹介

所在地 富山市秋吉162番地8 ☎ 076-425-2745
事業の内容 庭の管理全般
従業員数 8人

取り組み

玄関から道路までの除雪活動

きっかけ、思い

平成18年、富山市社会福祉協議会から除雪ボランティア募集の案内が届いたことをきっかけに、除雪ボランティア「おらっちゃ雪かき隊」に登録しました。

冬の時期は、これまでもお得意様で特に高齢者のお宅には無償で、玄関先の除雪や灯油タンク周辺などの除雪を行い、地域周辺のお宅の中でも特に自力で除雪が困難な方には率先して協力していました。

隣近所は助け合いが大切との思いから、今も継続しています。

活動内容

1月24日(火)、富山市社会福祉協議会から事前に依頼があった夫婦共に電動車いすで生活するお宅の玄関から道路までの除雪をしました。距離は約15mです。車いす使用のため、出入口は少し広めに丁寧に除雪を行いました。

このお宅には、平成21年から毎年関わっています。当社とは場所も近いので、依頼があれば快くボランティアをしてきました。重度の障害がある方が地域で生活をする場合は、雪の時期は自力で除雪ができないため特に注意が必要だと感じます。

除雪範囲が広いため、隣近所の助け合いでは難しいケースなので、少しでも力になればとできる限り協力しています。相手の方から、お礼を言われたときはとてもうれしく感じました。

仕事の関係で、たくさんのことはできませんが今後も少しでも役に立ちたいと思います。

効果、課題、今後に向けて

継続的に活動することが重要だと思います。小規模なので人手が足りないときは協力できませんが、できることを少しずつ行い、地域に貢献できればと考えています。

今後も、自分たちにできることがあれば協力していきます。



おわりに

富山市社会福祉協議会では、地域が抱えるさまざまな生活課題に対応した福祉のまちづくりをすすめるための指針として2015年（平成27年）に「地域福祉活動計画ささえあいプラン」を策定し、計画の実現に向けてさまざまな事業に取り組んでいます。

その重点事業の1つとして2016年に「社会貢献活動の実態調査」を実施しました。調査の結果、回答のあった事業所の半数以上が何らかの社会貢献活動に取り組んでおり、活動内容は環境整備や寄付などが多く、気軽に取り組める活動を行っていることがわかりました。その一方で、人材不足、時間や経済的に余裕がないなどの理由で実施していないところも多くありました。

近年は、企業等が地域の生活課題（ニーズ）を把握してその解決に寄与するために、自らの強みを地域に還元する取り組みなどが行われ始めています。

この事例集は、富山市内の福祉施設や企業で行われている活動を紹介したものです。富山市内にはたくさんの施設や企業があり、今回紹介した以外にもさまざまな活動が行われており、今後も数多くの活動を紹介していきたいと考えています。

社会貢献活動に関心はあっても、どのようなところから取り組めば良いのか悩んでおられませんか？みなさんの「チカラ」と「ココロ」が豊かな地域社会を創ります。わたしたちは地域密着型の社会貢献活動を応援します。

終わりに、この事例集の作成に当たり、貴重な事例やご意見並びにご尽力を賜りました施設、企業の皆様に心から感謝申し上げます。

平成29年3月
富山市社会福祉協議会



ボランティア活動のための 10大ポイント

1. 転倒防止のため、日頃から体力づくりに努めましょう。
2. 足元の安全を確認する習慣をつけましょう。
3. 自転車の運転には細心の注意を払いましょう。
4. 活動当日の体調を把握しましょう。
5. 活動内容に適した服装を心がけましょう。
6. 準備運動で身体をほぐしてから活動しましょう。
7. 今の自分にできることか、見極めながら活動しましょう。
8. 疲れを感じたら、必ず休憩しましょう。
9. 不用意に犬に近づくのはやめましょう。
10. ヒヤリとしたこと、ハッとしたことはメンバー内で共有しましょう。



社会福祉法人 富山市社会福祉協議会



富山市社会福祉協議会・本所

〒939-8640 今泉83番地1
市総合社会福祉センター内
TEL 422-3400(代表) FAX 491-2433



大沢野支所

〒939-2224
春日96番地1
大沢野健康福祉センター内
TEL 467-1294(代表)
FAX 468-3563



婦中支所

〒939-2603
婦中町羽根1105番地7
西保健福祉センター内
TEL 469-0775(代表)
FAX 469-0779



大山支所

〒939-1312
上滝523番地1
大山地域市民センター内
TEL 483-4111(代表)
FAX 483-4155



山田支所

〒930-2198
山田湯780番地
山田中核型地区センター内
TEL 457-2113(代表)
FAX 457-2259



八尾支所

〒939-2376
八尾町福島200番地
八尾健康福祉総合センター内
TEL 454-2390(代表)
FAX 454-2356



細入支所

〒939-2184
榆原1128番地
細入総合福祉センター内
TEL 485-9008(代表)
FAX 485-9200